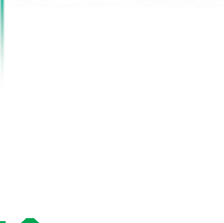
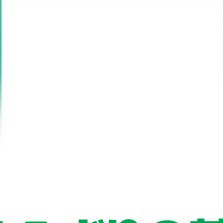
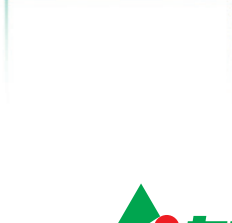
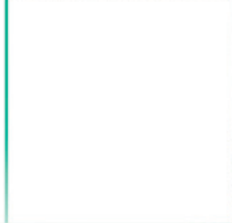
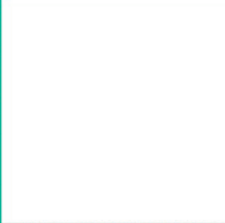
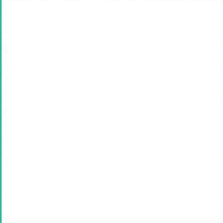
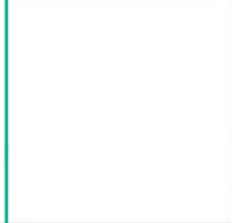


# 活動報告書

2008年度（平成20年度）

2008年3月1日～2009年2月28日



## 2008年度(平成20年度) 活動のご報告

セブン-イレブンみどりの基金の2008年度(平成20年度)の収入は、店頭募金3億7243万326円、セブン-イレブン本部からの寄付金7124万5238円、繰越金3405万3256円、公募助成積立金取崩収入1億円を合わせ、合計5億8944万4556円となりました。

支出は事業費3億832万3594円、管理費5884万9115円、次年度公募助成積立金1億7千万円を合わせ、支出合計は5億3717万2709円となり、お客様からの募金とセブン-イレブン本部からの寄付金をもとに、“環境”をテーマに活動している環境市民団体への支援事業や自然環境の保護・保全事業、地域環境美化事業、広報事業を行いました。また、今年度の広域災害時義援活動では、2008年5月の中国・四川省大地震災害、6月の岩手・宮城内陸地震災害に対して合計1億9474万8500円の義援金募金をお預かりし、それぞれの被災地にお届けいたしました。

環境NPO事業の公募助成制度では、市民が主体となって活動する団体がより継続的に、より発展的に活動できるよう、支援の目的や内容に合わせた6種類の助成を設けて制度の充実を図り、2008年度は合計180の団体に総額1億374万8981円を助成いたしました。地域の環境市民団体をサポートする地域活動支援では、2月に中間支援組織「九州環境サポートセンター」が設立され、九州の環境市民団体を支援する体制が整いました。また、助成制度を環境市民団体に紹介する助成金セミナーや情報交流会などを地域の中間支援組織と共同で開催いたしました。

自然環境の保護・保全活動事業では、北海道霧多布湿原の保護・保全活動として、認定NPO法人霧多布湿原トラストとの協定にもとづき、民有地約137haを取得し、累計で約336haを保護・保全しました。これまでに同団体が取得した約247haと合わせた面積約583haは、市民団体が自然保護のトラストとして取得した面積としては日本最大です。

自然災害復元・復興活動として、2006年から官民一体となって国有林の再生に取り組んでいる「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」の植樹事業に加え、新たに2000年の大噴火で被災した東京都三宅島の森林復元のために「三宅島緑化プロジェクト」を立ち上げ、島民の皆さんと一緒に森林の再生に取り組みはじめました。

また、地域環境美化事業では、グループ全社が参加する「セブン&アイHLDGS.全国一斉清掃活動」、ボーイスカウトによるスカウトの日「カントリー大作戦」、北海道全域で展開する「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」、「札幌大通公園花壇出展」、「広島市グリーン・パートナー事業への協賛」などを行い、美しい街並みの実現を目指した活動を続けています。

広報事業では、国有林の大自然の中で環境問題について考えていただくことを目的として、北海道と九州で開催する森林マラソンに協賛いたしました。

身の回りの環境ボランティア活動から日本の自然遺産を守る活動まで、当基金は、これからもお客様、環境市民団体、セブン-イレブン加盟店・本部と力を合わせ、より一層地域に根ざした社会貢献活動を推進していきたいと考えております。

皆様の更なるご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。